

おひさま ニュース

2025

春

号

4月15日発行



ホームページ

予約センター
(日曜・祝日除く)

☎0470-25-5121

平日 8:30~17:00

土曜 8:30~12:00

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <https://www.awairyo.jp/>

発行責任者：福内正義 編集責任者：根本達也



4分の壁

常識の壁をうちやぶる

院長 福内正義



『1マイル走の4分の壁』という話をご存知でしょうか。1954年にイギリスのロジャー・バニスターというランナーが、それまで不可能とされていた1マイル(約1600m)4分以内の走破を達成しました。それ以前の世界記録は、1923年の4分10秒3で、これは37年ぶりに2秒更新したものでした。長く続いた記録が破られたことは当時驚愕の出来事でしたが、同時に選手たちにマイナスの影響を与えてしまいました。人間が1マイル4分を切ることは不可能という常識が蔓延していたのです。

1950年代になり常識にとらわれない選手が登場します。それが当時オックスフォード大学医学部の学生であったロジャー・バニスターです。彼は当時としては珍しい科学的なトレーニング方法を用い、1954年5月に3分59秒4の世界記録を打ち立てました。この快挙は、それまで人間の限界とされていた壁を一人のランナーが破ったことで、「常識にとらわれない大切さ」を教訓として与えてくれています。その後バニスター氏の大記録からわずか1年の間に、なんと23人の選手が1マイル4分以内で走破しています。常識があたえる心理的壁の大きさと、一度その

壁がこわれたときの影響の大きさを語る興味深いエピソードだと思います。後にバニスター氏は『限界は自分の心の中にある』という言葉を残しています。

今年は団塊の世代のすべてが75歳以上になり国民の1/4が後期高齢者となるいわゆる「2025年問題」の年です。以前はピラミッド型だった日本人の年齢分布も、現代では逆ピラミッド型となり、働きながら介護をおこなうビジネスケアラーの増加も予想され、大きな社会的、経済的損失が予測されます。日本の歴史上、疫病や戦争以外での人口減少は今までありませんでした。特に南房総地域では、高齢化・人口減少・医療介護人材の不足が顕著であり、これらの問題がさらに深刻化すると考えられます。このような難しい社会状況では「常識の壁をうちやぶる」柔軟性や工夫が求められます。バニスター氏が成し遂げたように、前例や限界にとらわれず、よりよい医療の提供をし続けられるように努めてまいります。

2025年4月からは眼科センターがオープンし、白内障や緑内障、糖尿病性網膜症などの高齢者に多い疾患から、若年層の眼疾患まで診療を行います。また独立型の健診センターの建設も予定しております。これからも地域のみなさまとの信頼関係を大切にし、ともに歩んでまいりたいと思います。今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。

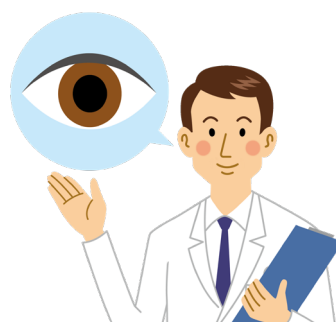
診療科のご紹介

内科系	総合診療科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	膠原病・リマウチ内科	小児科
	腎臓内科	腫瘍内科	脳神経内科	糖尿病甲状腺内分泌内科	健 診	
外科系	外 科	外科 肛門病センター		整形外科	泌尿器科	婦人科
	スポーツ整形	皮膚科	脳血管内治療科	眼 科		乳腺科
その他系	救急科	透析科	麻酔科	リハビリテーション		
専門外来	人工関節外来	脊椎外来	手の外科	骨粗鬆症外来	禁煙外来	総合スポーツ・運動処方外来
	ウロギネ・ヘルニア外来	発達相談				

眼科センター開設のご挨拶

安房地域医療センターでは、高齢化が進む房総地域の方々のニーズに応え、2025年4月より、本館2階の手術室に隣接して、専用の手術室を備えた眼科センターを開設いたしました。房総地域には網膜硝子体手術など、高度眼科治療が提供出来る施設が限られており、眼科治療のために県北まで行かなければならない患者さまも多く、今までご不便をおかけしてまいりました。眼科センター開設当初は、現在の健診センターが移設されるまでの暫定的な施設として運用しますが、健診センターの移設後には、その跡地を改築し、県南屈指の高度眼科センターへと発展させる計画です。専用の手術室の増設も予定しており、房総地域の患者さまのニーズにお応えしてまいります。

眼科センター長には、亀田メディカルセンターで医長として活躍していた加藤寛彬^{かとうひろあき}医師が着任します。加藤医師は現在カンボジアで臨床指導等を行っており、本格的な就任は10月を予定しております。それまでは、医長^{おかのかな}の岡野香那医師を中心に、横浜市立大学の眼科などと連携し、当センターの充実を図ってまいります。



加藤医師は、亀田メディカルセンターの眼科医長として様々な手術を行い、その高い技術や独自に開発した術式などで眼科学会からも有望な若手医師として注目されています。また、親しみやすい人柄で、多くの医師やスタッフの指導・教育にも熱心に取り組み、高い評価を得ています。

また、視能訓練士をはじめとする眼科スタッフの充実も進めており、コンタクト外来を含めた一般眼科診療から高度な眼科手術まで幅広いサービスを提供してまいります。

しかし、当院にとって、新たに開設する診療科であり、患者さま方をはじめとしたみなさまのご意見やご要望を伺い、みなさまに信頼され、愛される眼科センターへと一歩ずつ成長して行きたいと考えています。

安房地域医療センター・眼科センターの発展に向け、みなさまのご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

外来診察日		月	火	水	木	金	土
お問い合わせ、ご予約は ☎ 0470-25-5121	午前	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	
	午後		岡野				

新設した眼科センターをご紹介します



眼科受付

2階でエレベータを降りた正面が眼科外来受付です。1階総合受付にて受付をしたあとに、お越しください。



待合室

眼科の患者さま専用の待合スペースは15名ほどお待ちいただけます。落ち着いた雰囲気のある壁紙は理事長が選びました。



診察室

診察室は、車イスでも余裕のある広めの空間に設計いたしました。個人情報に配慮した個室です。



検査室

視力検査、視野検査など様々な検査を行えます。検査機器は最新の設備を導入いたしました。

2025年度の健診・検診日程について

特定健診

	実施期間	
館山市	5月13日～ 6月18日	27日間
鴨川市	6月19日～ 7月 7日	15日間
南房総市	8月20日～ 9月27日 11月 4日	20日間
鋸南町	10月 2日～ 10月 6日	4日間

乳がん検診

	実施期間	
館山市	6月 2日～ 2026年 1月31日	
鴨川市	6月 2日～ 2026年 1月31日	
南房総市	6月 2日～ 2026年 1月31日	
鋸南町	6月 2日～ 2026年 1月31日	

子宮がん検診

	実施期間	
館山市	6月 2日～ 2026年 2月28日	
鴨川市	6月 2日～ 2026年 2月28日	
南房総市	6月 2日～ 2026年 2月28日	
鋸南町	6月 2日～ 2026年 2月28日	

5月より、病気の予防、早期発見、早期治療を目的として、感染予防対策を施しつつ、地域住民のみなさまを対象に、住民(集団)健診・検診を実施いたします。

また、各種がん検診につきましても下記日程にて実施を予定しています。詳しい日程、お申込みなどにつきましては、お住まいの行政機関へお問合せください。

大腸がん検診

	実施期間	
館山市	特定健診と同日実施	
鴨川市	特定健診と同日実施	
南房総市	特定健診と同日実施	
鋸南町	9月 3日～ 10月31日	8日間

骨粗鬆症検診

	実施期間	
館山市	9月19日～ 9月22日	3日間
鴨川市	7月 9日～ 7月11日	3日間
南房総市	10月 7日～ 10月10日	4日間
鋸南町	9月 3日～ 9月 9日	2日間



トピックス

ひまわり保育所

最後の卒所式

長年、安房地域医療センターで働く保護者のお子さまたちを保育させていただいたひまわり保育所は 3月31日(月)をもって閉所となりました。3月16(日)には、ひまわり保育所最後となる『卒所式』が行われました。自然の豊かさや地域の方とのふれあいなど、恵まれた環境の中でおともだちと様々な経験を積み重ね、大きくたくましく成長した4名の子どもたちは、ご家族に見守られながら立派に保育証書を受け取ることができました。



また、3月21日(金)には『お別れ会』を開催し、みんなで楽しい思い出作りと 4月からそれぞれ歩み出す新たな一歩にエールを送りました。



これまでご利用いただきましたみなさま、さらに保育所運営に携わっていただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。そして、巣立っていったすべての子どもたちの未来が笑顔と希望に満ちあふれることを願い応援し続けていきます。本当にありがとうございました。



2025年度入職式

2025年度新入職員が入職しました。4月1日(火)に看護師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学士、臨床検査技師、調理師、事務員の一般職員、4月4日(金)に初期研修医と専攻医の入職式がそれぞれ行われました。研修や指導のもと1日でも早くみなさまのお役に立てようがんばっています。患者さまやご家族さまの温かいご指導・ご協力をお願いいたします。



災害の備えに

地震や台風などの大規模災害発生時に、無償で飲料を提供できる「災害支援型」の自動販売機を院内外4箇所に設置をいたしました。

平時は通常の自動販売機として利用でき、災害発生時に職員が設定することで、無料で飲料が提供できます。一部の機械は停電時も稼働します。

これからも、様々な災害対策に取り組んでいきます。

編集
後記

おひさまニュース
バックナンバー

2025年度が始まり、4月からは新たな診療科として、眼科がオープンしました。今号は、終わりもあれば始まりもあるというように大きく変わろうとしている安房地域医療センターの次への歩みを掲載しています。安房地域のみなさまの医療や福祉への声を大切に、暮らしや福祉

に寄り添う安房をともにつくることをめざします。おひさまニュー

スは今年度もさまざまな情報を発信いたします。



じゅんべりい